

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	施設マネジメント小委員会	主 査 名：山本 康友 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：安藤 正雄
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理を始めとするマネジメントのあり方を、主として施設管理者あるいは発注者の側に立って検討する。ガイドラインや指針の形でまとめ、建物の長寿命化への一助とする。</li> <li>・2011 年度は施設マネジメント実態調査分析及び標準化案取りまとめ</li> <li>・2012 年度は施設マネジメントの体系化調査と大会パネルディスカッション</li> <li>・2013 年度は施設マネジメントの標準化案作成と大会パネルディスカッション</li> <li>・2014 年度は施設管理台帳の提案及び啓発</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査 山本康友(首都大学東京) 幹事 円満隆平(金沢工業大学) 幹事 堤洋樹(前橋工科大学)、安蘇秀徳(東京美装)、有川智(東北工業大学) 五十嵐健(早稲田大学)、板谷敏正(プロパティデータバンク) 小松幸夫(早稲田大学)、鈴木晴紀(CRE-PRE研究所)、高橋暁(国総研) 中村孝明(篠塚研究所)、三橋博巳(日本大学)、南一誠(芝浦工業大学) 山下光博(建築保全センター)	
設置 WG (WG 名：目的)	施設管理台帳標準化WG (施設管理台帳の標準化) 建物取壊しと法定耐用年数に関する調査WG (法定耐用年数と建物寿命)	
2012 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)	(名称) 地方公共団体における施設マネジメントの推移と今後の可能性 (資料名) 地方公共団体における施設マネジメントの推移と今後の可能性 2012 年 11 月 6 日開催, 参加者数 34 名 建築計画委員会 公共施設マネジメント小委員会と共催
大会研究集会	(パネルディスカッション) 公共施設における情報管理のあり方 (資料名) 公共施設における情報管理のあり方 2012 年 9 月 12 日開催 参加者数 50 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大会で「公共施設における情報管理のあり方」のパネルディスカッションを開催し、公共施設での情報管理についての議論を行い、今後の公共施設での情報管理についての整理を行うことができた。</li> <li>2. シンポジウム「地方公共団体における施設マネジメントの推移と今後の可能性」を開催し、今日に至る公共施設の再編問題の理解と整理を行うことができた。</li> <li>3. 各地方公共団体に対して、施設マネジメントのヒアリングの実施することができた。</li> <li>4. 施設マネジメントの実態の整理分析したうえで、施設管理台帳の標準化案の整理を実施することができた。</li> </ol>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共施設における情報管理のあり方をどのように地方公共団体へ波及させるかについて検討する。</li> <li>2. 研究成果の発信の方法、手段について多面的に検討する。</li> </ol>